

りんどう

経営方針

- 1 利用者の尊厳を尊重し、一人ひとりの人権を擁護するとともに生活が健康で豊かなものになるように、良質かつ適切なサービスを提供するように努めセーフティネットの役割を果たします。
- 2 関係機関や他事業所と連携し、地域のニーズに合った福祉サービスを提供し地域福祉の向上に努めます。
- 3 職員の能力開発や専門性を高めるため、積極的な職員研修の実施と外部研修に参加するとともに、自己研鑽を呼びかけ向上発展する人材育成に努めます。
- 4 コンプライアンスの推進を図り、さらに信頼できるよう、経営意識の醸成を図り、経営の安定に取り組みます。

■ りんどう

[障害者支援施設（施設入所支援、生活介護、短期入所）、日中一時支援事業]

取り巻く環境

りんどうの利用者は60歳以上が約7割と高齢化が深刻な状況です。また、身体機能や認知機能の低下も進んでおり、多様な障がい特性に応じた安全に配慮した支援が求められています。

多種多様な利用者への安心・安全なサービス提供のため、医療との連携強化、専門的な知識習得や介護スキルを含めた支援力の向上が求められています。

また、新型コロナウイルスを含めた感染症対策を継続しながら、利用者が楽しみや意欲を持って充実した施設生活を送れるよう、日中活動の充実や各種ボランティアの受入れ、地域行事等への参加等、地域住民との交流の機会の提供が必要です。

さらに、支援に携わる職員一人ひとりが心身とも健康に働き続けられるよう、職員の人材確保、ワークライフバランスに配慮し、誰もが働きやすい魅力ある職場づくりを目指していく必要があります。

令和6年度【事業の重点項目】

1 人権尊重と虐待防止の意識の徹底

人権尊重と虐待防止について、施設内研修の実施及び外部研修への参加、「人権侵害自己チェック」及び「虐待の芽チェック」の実施によって虐待防止に関する意識の徹底を継続します。

また、成年後見制度について、本人や家族への情報提供による利用促進と意思決定支援についての理解を深めます。

2 安心・安全なサービスの提供

利用者の高齢化や障がいの多様化に対応するため、リスクマネジメントや介護技術等の各種研修、定期的なアセスメントによる利用者個々の障がい特性の理解や専門知識の習得、支援力

の向上を目指します。

また、新型コロナウイルスを含めた各種感染症について、感染症対策を継続しながら予防に努めるとともに、感染対策委員会の実施、定期的なマニュアルの見直しを実施します。

3 福祉サービス事業の提供

多様化・複雑化する地域の福祉ニーズに応えるため、各関係機関等と連携しながら、施設入所や短期入所利用者のニーズ把握に努め、福祉サービス事業の提供を積極的に推進します。

また、ボランティアの受入れや地域行事への参加等、地域住民との交流の機会の提供に努めます。

4 人材の確保・育成

機関紙やホームページを活用した施設の情報発信を継続するとともに、障がい者雇用の理解と受入れを推進し、人材確保に努めます。

また、高齢化や多様な障害を有する利用者への支援スキル向上を目指した施設内研修の実施、専門知識向上を図るため外部研修の参加や資格取得を奨励し、人材育成に努めます。

5 働きがいのある職場づくり

業務の見直し、システムの有効活用を検討しながら業務の効率化を図るとともに、介護機器の導入・活用による肉体的・精神的負担や不安の軽減を図ります。

また、支援に携わる職員一人ひとりが心身とも健康に働き続けられるよう、ワークライフバランスに配慮し、誰もが働きやすい魅力ある職場づくりを目指します。

6 利用率維持・向上と経営の安定

各関係機関等と連携しながら利用定員の維持・充足を目指すとともに、利用者の健康管理や事故防止に努め、利用率を維持し、経営の安定に努めます。

また、施設の収支状況や制度理解を深めるため施設内研修を実施し、収支改善と経営意識の醸成を目指します。